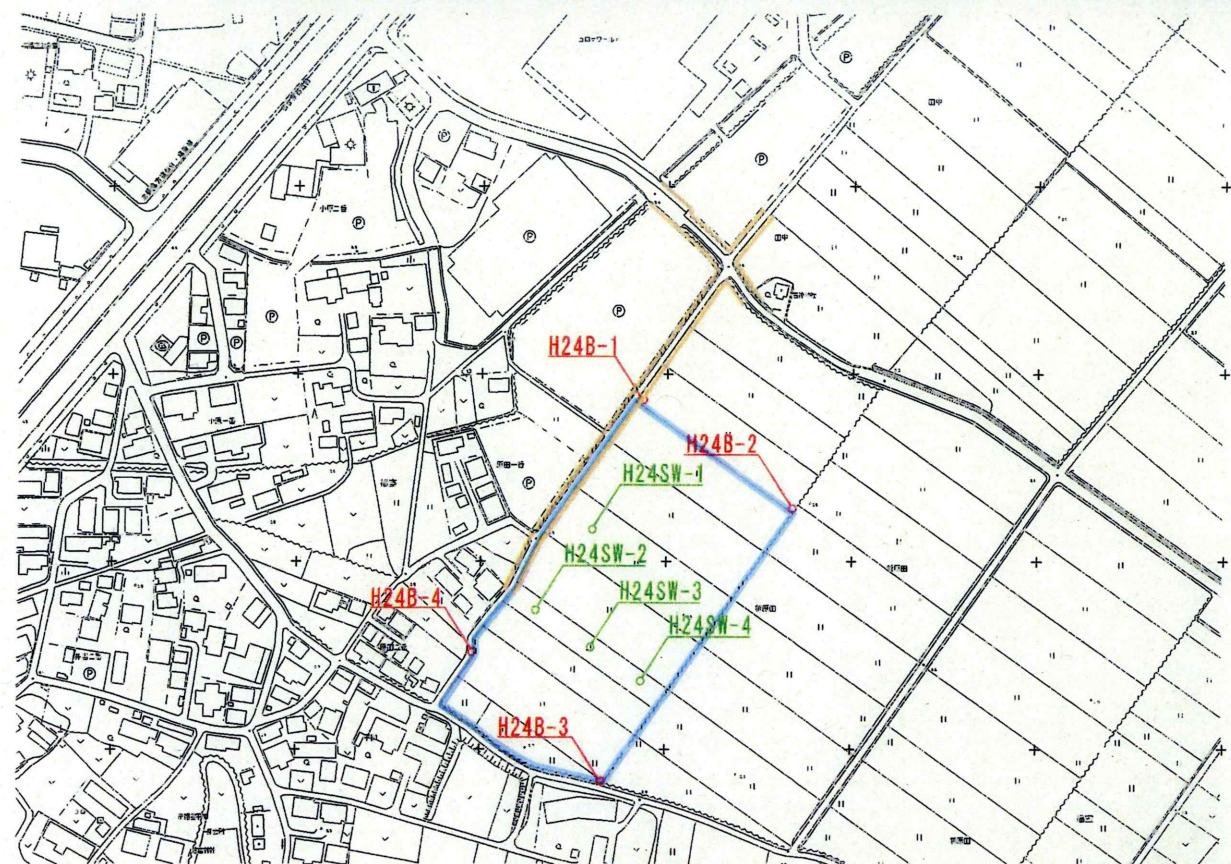


地質調査報告書（抜粋）

南福室地区



調査位置平面図

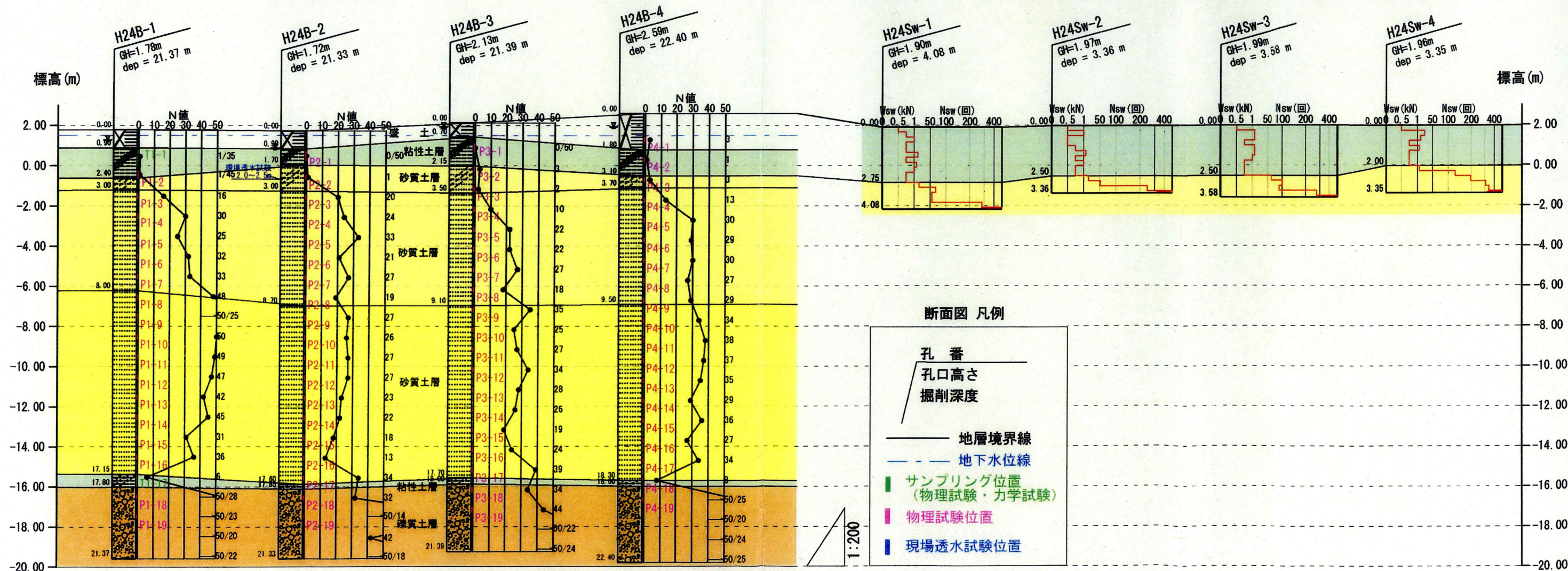
1:4,000

平面図 凡例

- H24SW-1 サウンディング試験位置
- H24B-2 ボーリング位置
- 防災集団移転範囲

土層想定断面図 凡例

地質時代	地層区分	地質名	構成する主な土質・岩質	N値の範囲	特徴
現世	Bn	表土	粘土 砂質シルト	3	耕作土で、不均質な粘性土である。 全体に砂、礫を不規則に混入する。
第四紀	沖積層	Ac1	第1粘性土層	有機質シルト	0~1 均質なシルトを主体とする。 所々に腐植土を混入する。
		As1	第1砂質土層	シルト質細砂	1~3 粒径の細かい微細砂を主体とする。 全体にシルト分を混入する。
		As2	第2砂質土層	細砂	10~33 粒径均一な細砂を主体とするが、所々中砂を主体とする。 稀に腐植物を少量混入する。
		As3	第3砂質土層	微細砂	13~60 粒径の細かい微細砂を主体とする。 全体に貝殻細片を混入する。
		Ac4	第4粘性土層	砂質シルト	6 微細砂をレンズ状・互層状に挟む。
	基盤岩	Ag	砂礫	32~107	礫径はφ5~30mmの亜円・亜角礫を主体とする。 最大礫径φ60mm前後。 礫は比較的硬質で、礫の混入量は60~80%程度である。 マトリックスは粗砂主体である。



土層想定断面図

※ 地点間距離は任意

断面図 凡例


- 孔番
- 孔口高さ
- 掘削深度
- 地層境界線
- 地下水位線
- サンプリング位置
(物理試験・力学試験)
- 物理試験位置
- 現場透水試験位置

図-5.2.1 調査位置平面図および土層想定断面図

ボーリング柱状図

平成24年度 防災集団移転促進事業に関わる南福室地区測量調査基本設計業務委託

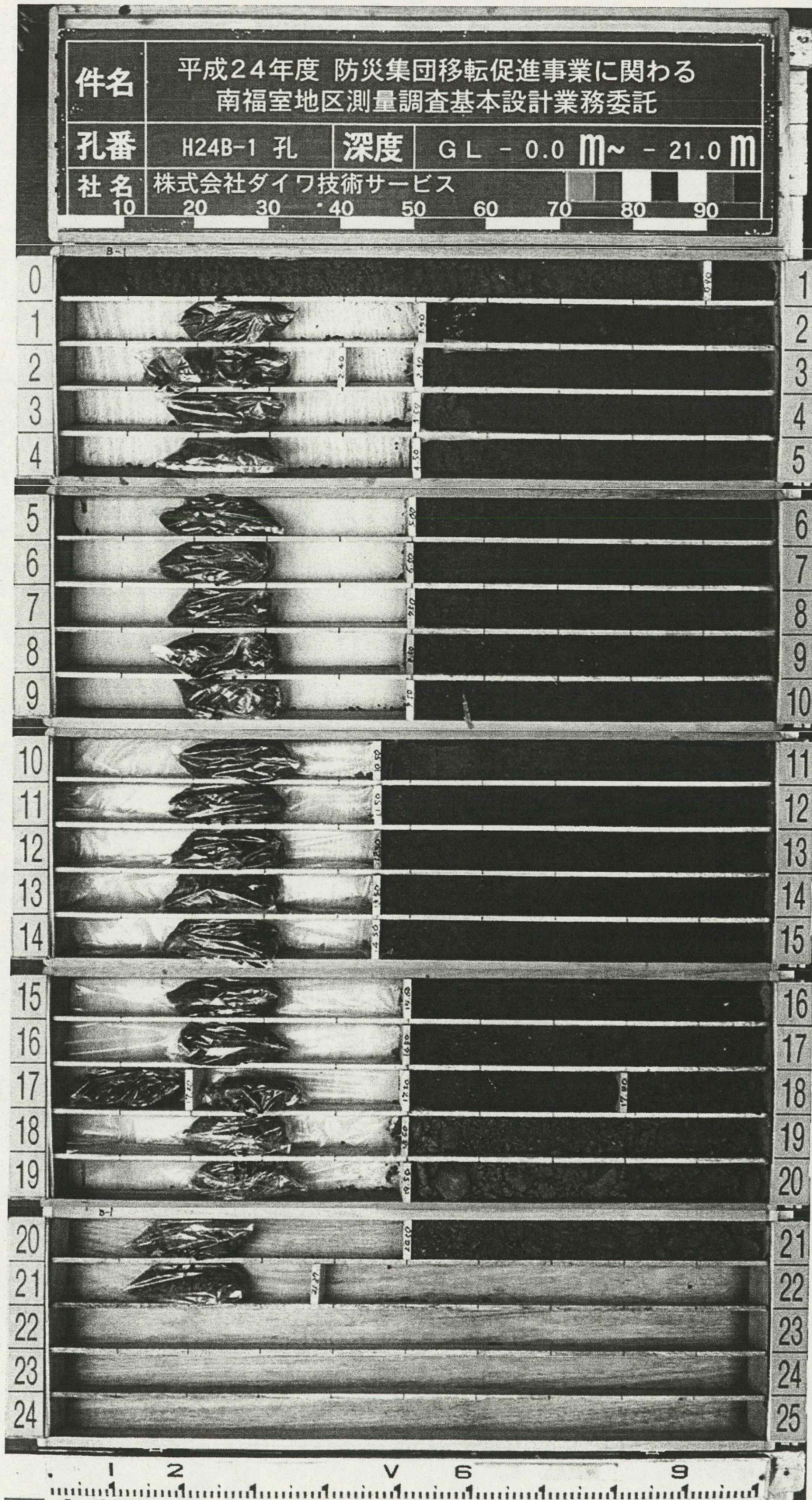
シート No

ボーリング名	H24B-1		調査位置		仙台市宮城野区福室字新原田 外 地内					北 緯		38° 15' 30"									
発注機関	仙台市					調査期間		平成 24年 8月 28日 ~ 24年 8月 29日			東 経		140° 58' 09"								
調査業者名	株式会社ダイワ技術サービス 電話 (022-298-9113)			主任技師		市川 健		現 場 代 理 人		高桑 卓也		コ 鑑 定 者		高桑 卓也		ボーリング 責 任 者		小川 敏史			
孔 口 標 高	GH=1.78m		角		180° 上 90° 下 0°		方 向				地盤勾配		鉛直 90° 水平 0°		使用機種		東邦 D0-DR		ハンマー 落下用具		
総掘進長	21.37m		度		0°		向				試錐機		エンジン			ヤンマー NFAD9		ポンプ		扶桑工業 V6P	

[illegible]

No. H24B-1

コア写真



ボーリング柱状図

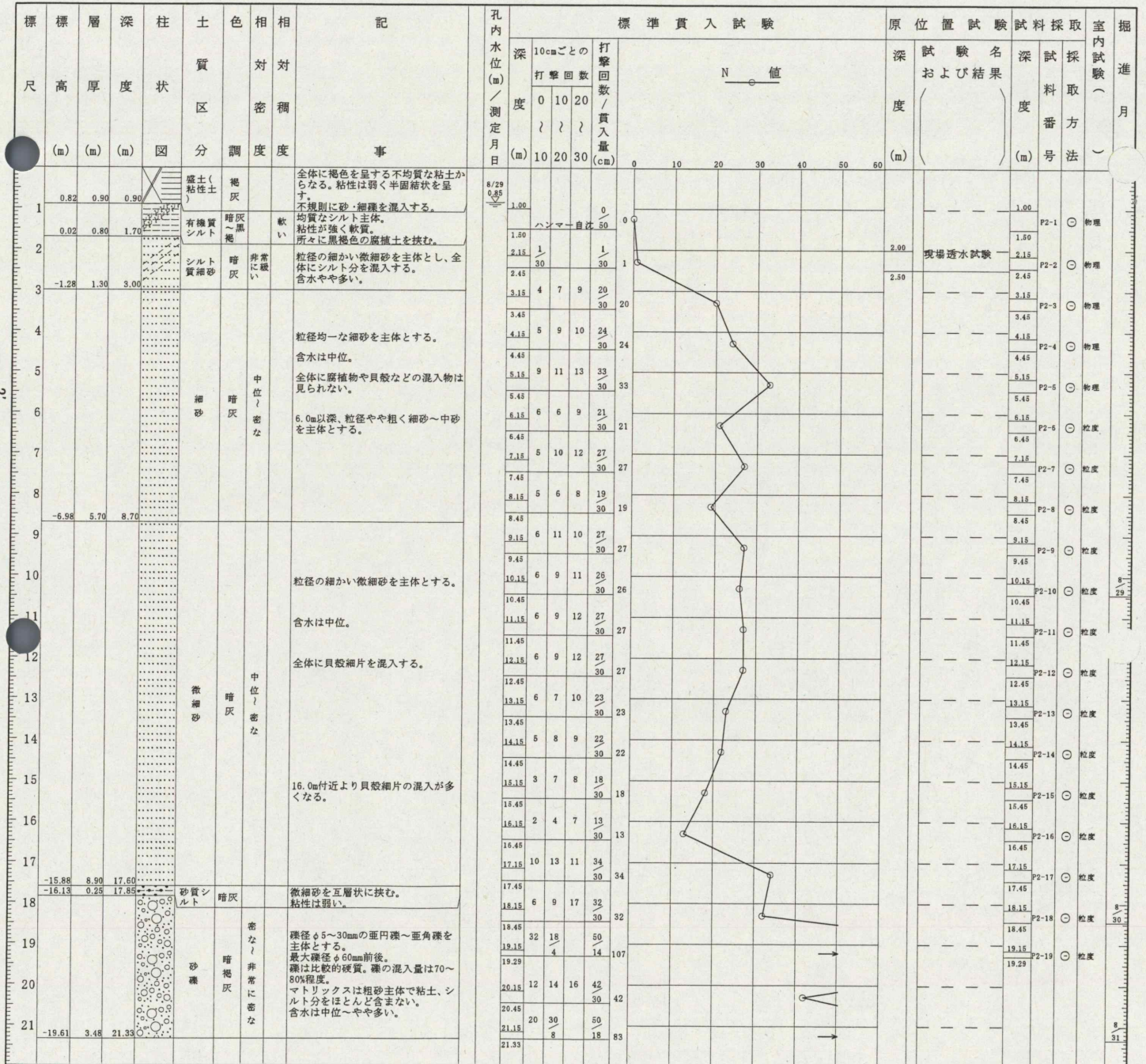
調査名 平成24年度 防災集団移転促進事業に関わる南福島地区測量調査基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

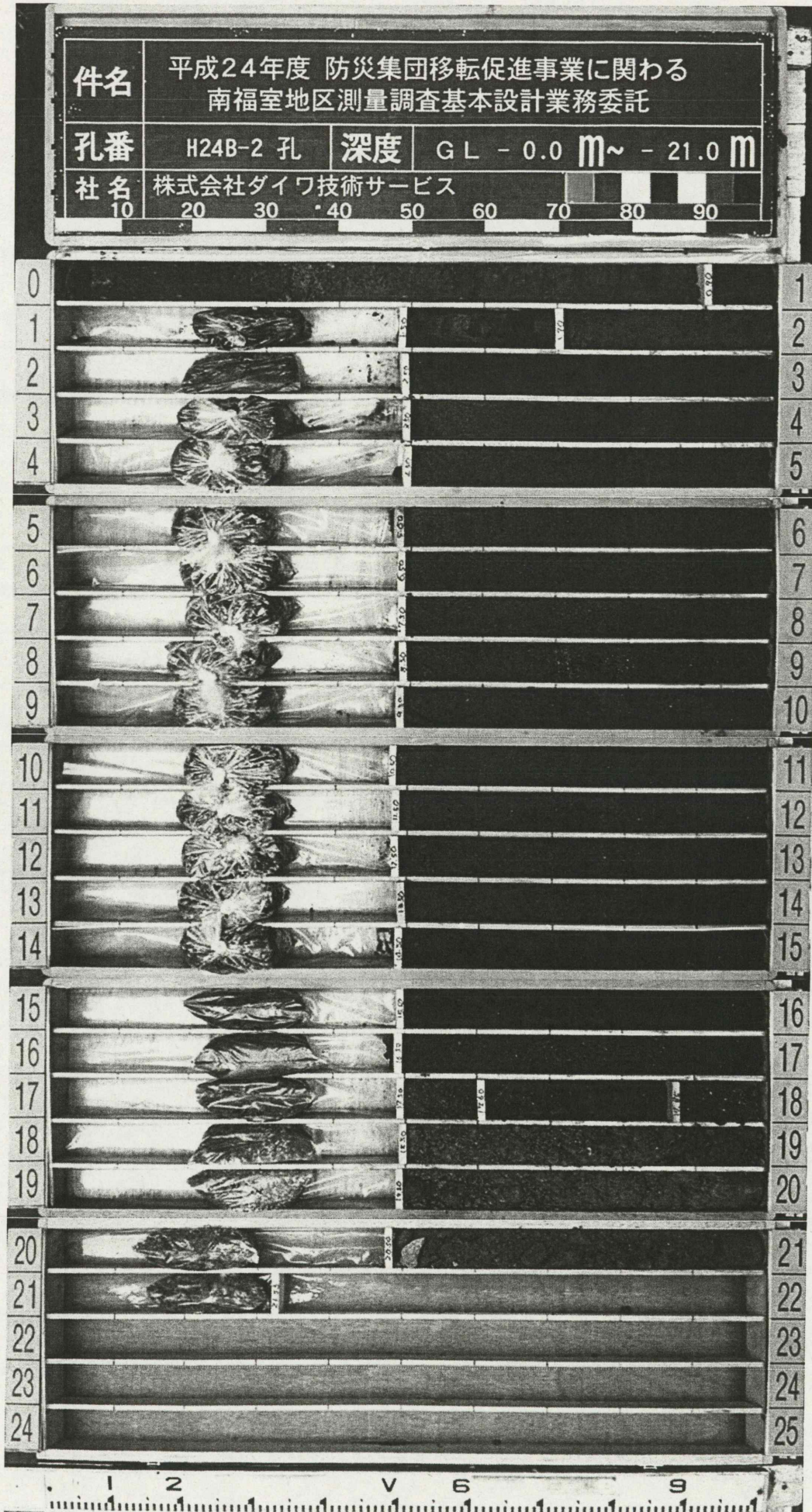
シートNo

ボーリング名		H24B-2		調査位置		仙台市宮城野区福室字新原田 外 地内					北 緯		38° 15' 29"												
発注機関		仙 台 市					調査期間		平成 24年 8月 29日 ~ 24年 8月 31日			東 経		140° 58' 12"											
調査業者名		株式会社ダイワ技術サービス 電話 (022-298-9113)			主任技師		市川 健		現 場 代 理 人		高桑 卓也		コ 鑑 定 者		高桑 卓也		ボーリング 責 任 者		山 口 賀 巳						
孔 口 標 高		GH= 1.72m		角		180° 上 90° 下 0°		方		北 0° 0° 90° 270° 西 東 180° 南		地盤 勾 配		鉛 直 水平0° 90° 0°		使用 機 種		試 錐 機		東 邦 D0-DR		ハンマー 落下用具		半 自 動 型	
総掘進長		21.33m		度		0°		向				配				エンジン		ヤンマーNFAD9		ポン プ		扶 桑 工 業 V6P			



No. H24B-2

コア写真



ボーリング柱状図

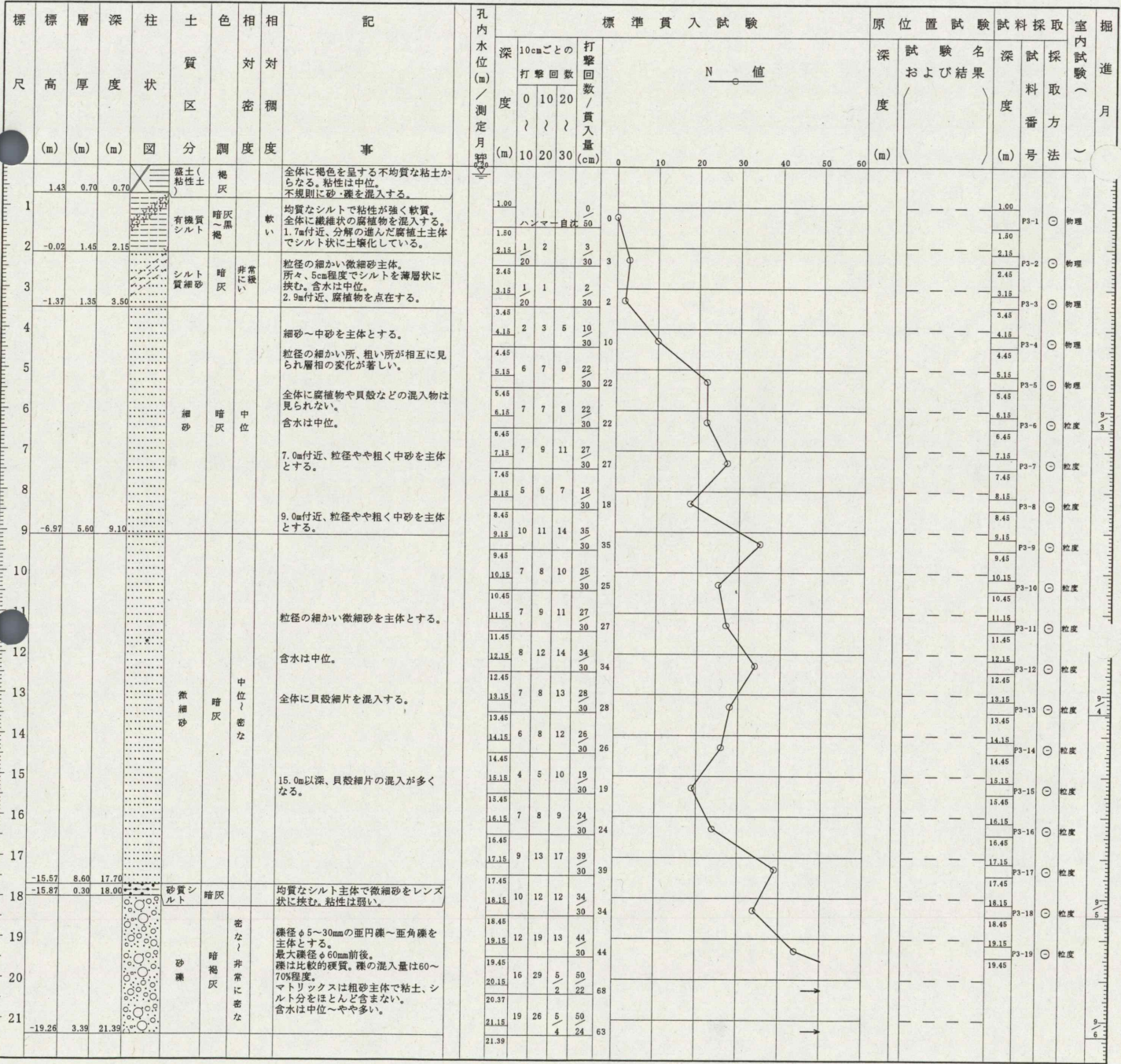
調査名 平成24年度 防災集団移転促進事業に関わる南福島地区測量調査基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

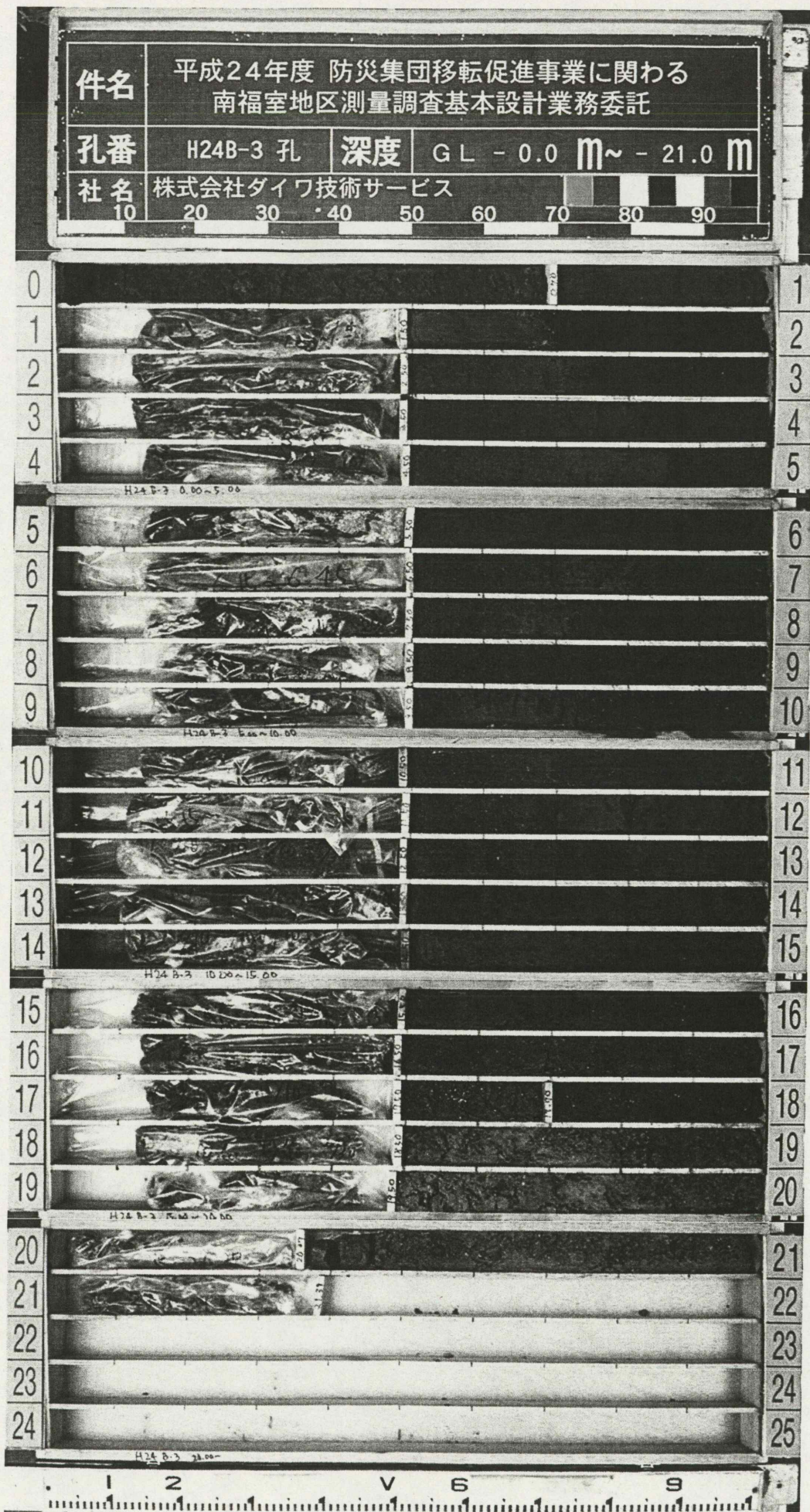
シートNo

ボーリング名	H24B-3	調査位置	仙台市宮城野区福島字新原田 外 地内	北 緯	38° 15' 24"
発注機関	仙台市	調査期間	平成 24年 9月 3日 ~ 24年 9月 6日	東 経	140° 58' 08"
調査業者名	株式会社ダイワ技術サービス 電話 (022-298-9113)	主任技師	市川 健	現場代理人	高桑 卓也
コ 鑑 定 者	高桑 卓也	ボーリング責任者	阿部 匡弘	ハンマー落下用具	半自動型
孔口標高	GH=2.13m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 0° 270° 西 0° 90° 東 180° 南
地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	東邦 D0-DR	エンジン	ヤンマー NFAD9
総掘進長	21.39m	度	0°	ポン プ	扶桑工業 V6P



No. H24B-3

コア写真



ボーリング柱状図

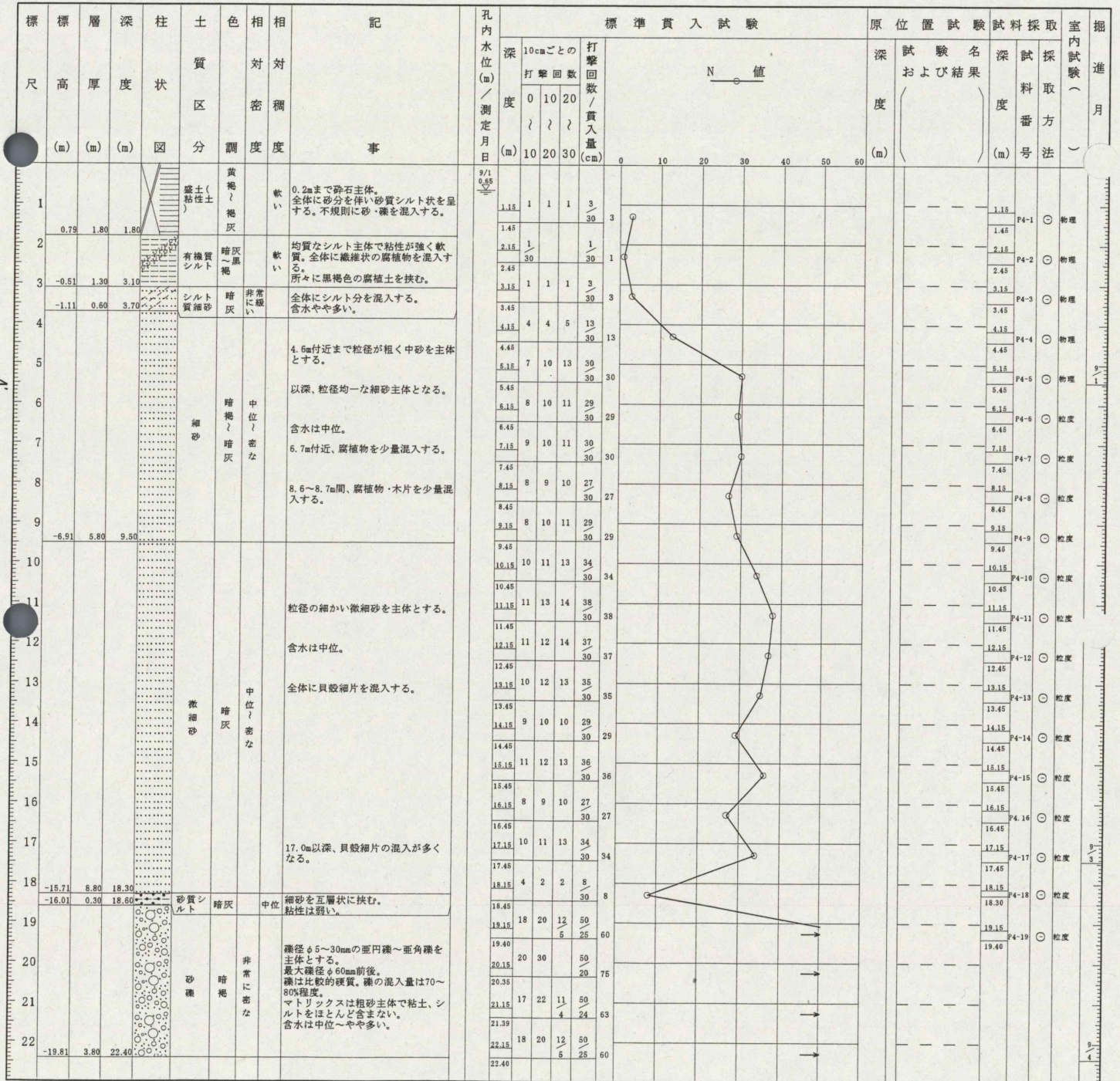
調査名 平成24年度 防災集団移転促進事業に関わる南福島地区測量調査基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

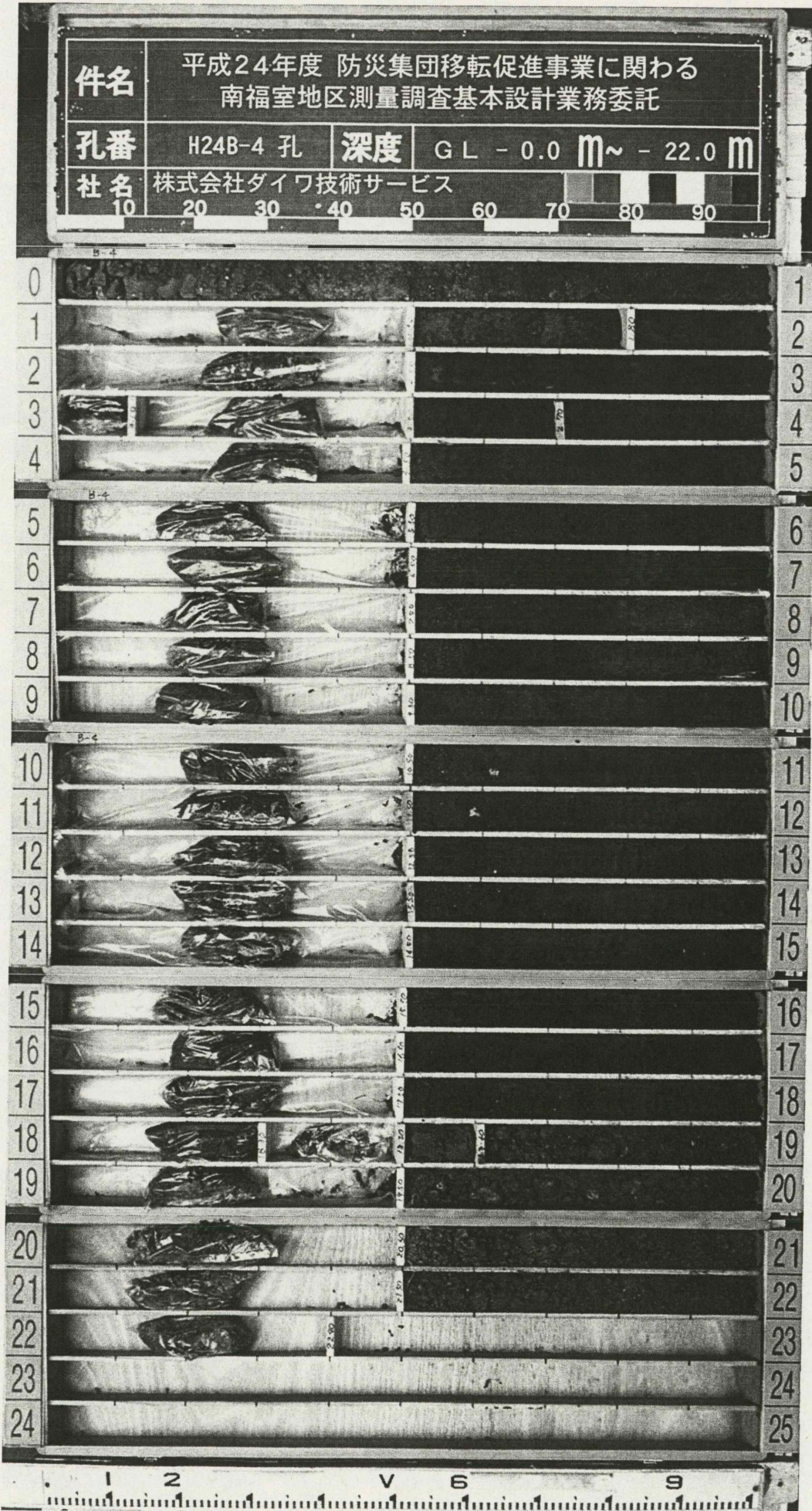
シートNo

ボーリング名	H 2 4 B - 4		調査位置		仙台市宮城野区福室字新原田 外 地 内					北 緯		3 8 ° 1 5 ' 2 6 "				
発 注 機 関	仙 台 市					調査期間		平成 2 4 年 9 月 1 日 ~ 2 4 年 9 月 4 日			東 経		1 4 0 ° 5 8 ' 0 5 "			
調 査 業 者 名	株 式 会 社ダイワ技術サービス 電話 (0 2 2 - 2 9 8 - 9 1 1 3)		主任技師		市 川 健		現 場 代 理 人		高 桑 卓 也 コ ア 鑑 定 者		高 桑 卓 也		ボ-リング 責 任 者		小 川 敏 史	
孔 口 標 高	GH= 2.59m		角		180° 上 90° 下 0°		方		北 0° 270° 西 0° 東 90° 180° 南		地盤 勾配		鉛直 90° 水平0° 0°		使用 機種	
総掘進長	22.40m		度		0°		向		0°		試錐機		東邦D0-DR		ハンマー 落下用具	
											エンジン		ヤンマーNFAD9		ポンプ	
															扶桑工業V6P	



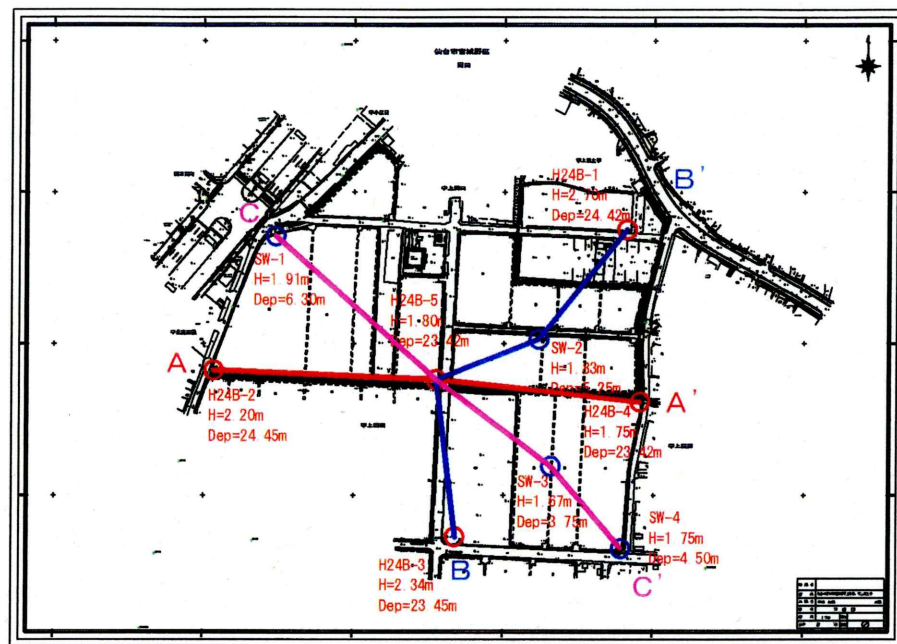
No. H24B-4

コア写真



地質調査報告書（抜粋）

岡田第二地区



凡 例					
時代	地層名	記号	構成土質	N 値	厚さ (m)
新 完	盛土層	Bs	シルト混じり中砂 礫混じり砂	-	0.90~1.25
	表土層	ts	表土・耕作土	-	0.10~0.25
第 1 期	第1粘性土層	Ac1	砂質シルト	3	1.65
	第2粘性土層	Ac2	シルト 砂混じりシルト	2	0.60~1.20
	有機質土層	Ap	腐植土	1	0.45~0.85
	第1砂質土層	As1	シルト混じり中砂	-	0.6
	第3粘性土層	Ac3	シルト	1	0.20~1.05
第 2 期	第4粘性土層	Ac4	砂質シルト	2	0.7
	第2砂質土層	As2	シルト混じり中砂	1~16	1.50~3.60
	第5粘性土層	Ac5	シルト	-	0.4
	第3砂質土層	As3	中砂	9~39	3.90~6.70
	第4砂質土層	As4	細砂	10~32	5.85~8.25
第 3 期	第6粘性土層	Ac6	シルト	3~12	0.55~0.75
	第5砂質土層	As5	礫混じり砂	-	0.55
洪積砂礫層	Dg	砂礫	31~50 以上	5.20~8.25 礫混	

地層断面想定図 (A-A'断面)

縮尺 横 : 1:1000
縦 : 1:200

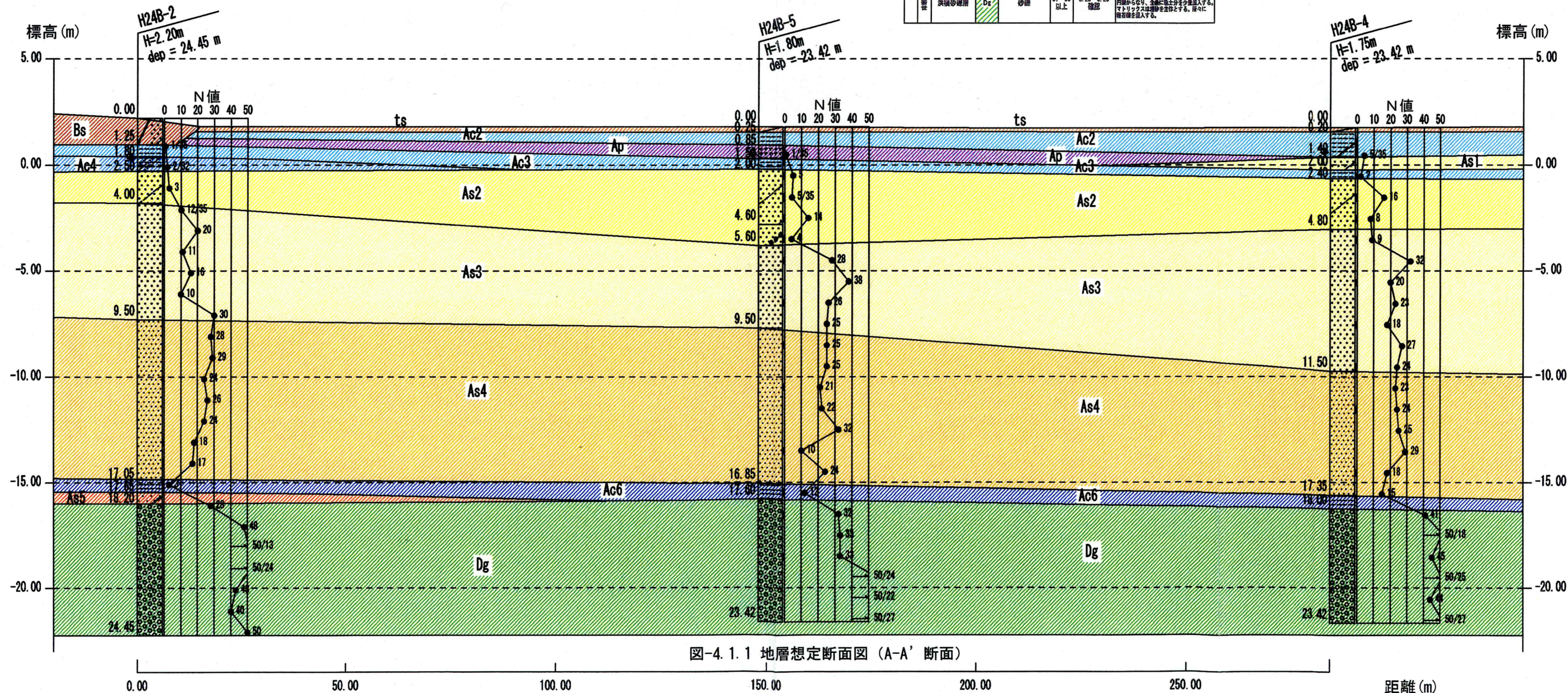
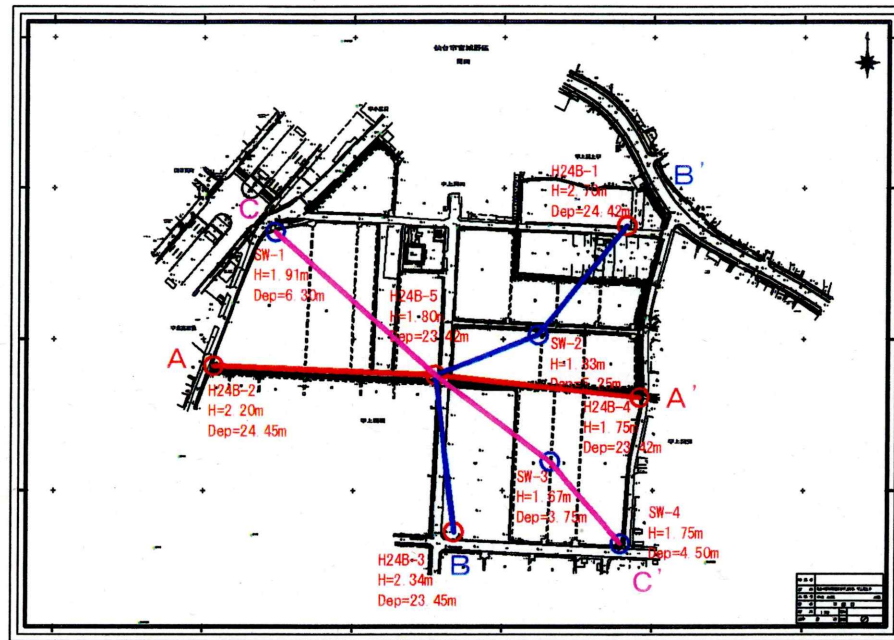


図-4.1.1 地層想定断面図 (A-A'断面)



凡 例				
地層名	記号	構成土質	N 値	備 考
盛土層	Bs	シルト混じり中砂	-	0.80~1.25
表土層	ts	表土・耕作土	-	0.10~0.25
第1粘性土層	Ac1	砂質シルト	3	1.65
第2粘性土層	Ac2	シルト	2	0.80~1.20
有機質土層	Ap	腐植土	1	0.45~0.85
第1砂質土層	As1	シルト混じり中砂	-	0.6
第3粘性土層	Ac3	シルト	1	0.20~1.05
第4粘性土層	Ac4	砂質シルト	2	0.7
第2砂質土層	As2	シルト混じり中砂	1~16	1.50~3.80
第5粘性土層	Ac5	シルト	-	0.4
第3砂質土層	As3	中砂	9~39	3.90~6.70
第4砂質土層	As4	細砂	10~32	5.85~8.25
第6粘性土層	Ac6	シルト	3~12	0.55~0.75
第5砂質土層	As5	硬質シルト	-	0.55
洪積砂礫層	Dg	砂礫	31~50	5.20~8.25

地層断面想定図 (B-B'断面)

縮尺 横 : 1:1000
縦 : 1:200

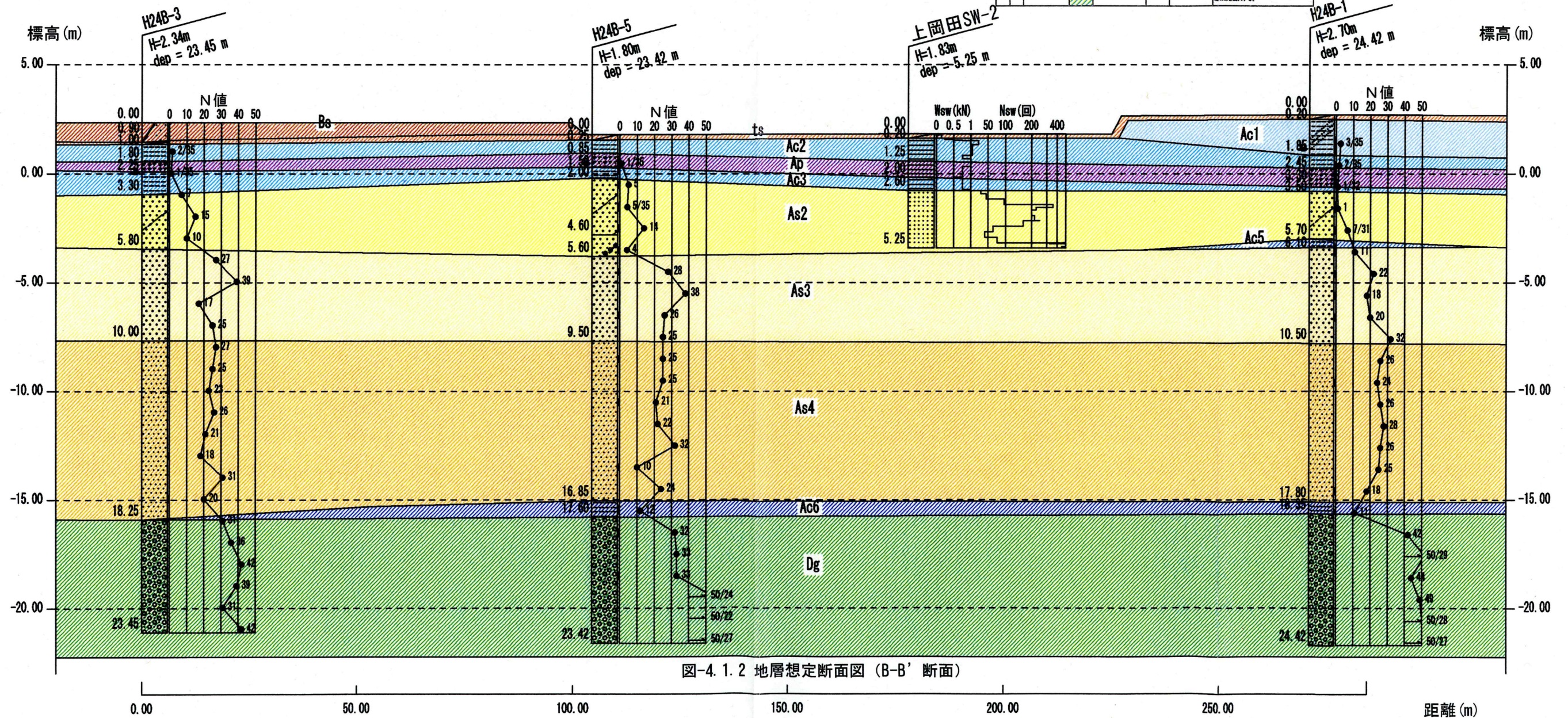
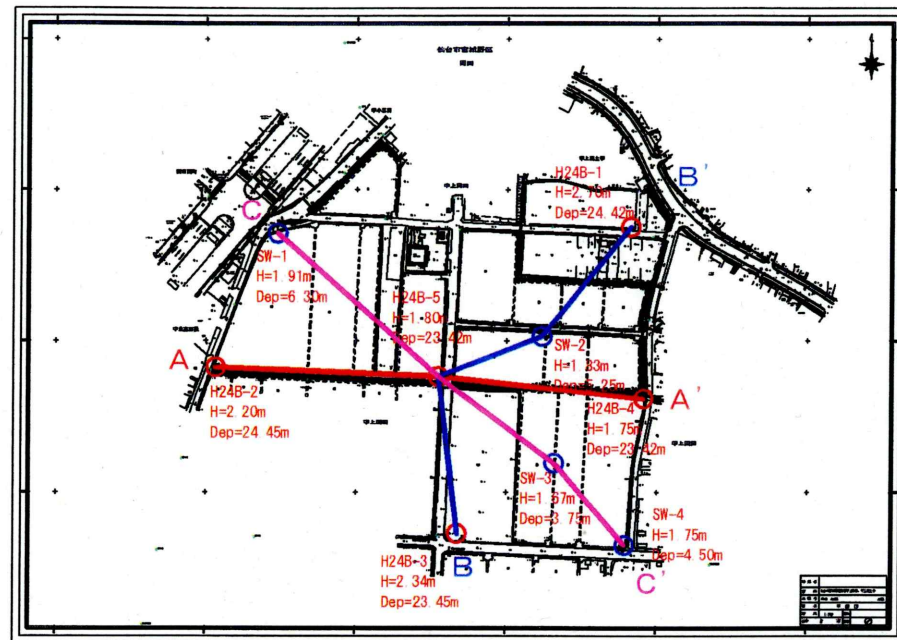


図-4.1.2 地層想定断面図 (B-B'断面)



凡 例					
時代	地層名	記号	構成土質	N 値	厚 (m)
新 世	堆土層	Bs	シルト混じり中砂 微細り砂	-	0.30~1.25
	表土層	As	表土・耕作土	-	0.10~0.25
	第1粘性土層	Ac1	砂質シルト	3	1.65
	第2粘性土層	Ac2	シルト 砂混じりシルト	2	0.60~1.20
	有機質土層	Ap	腐植土	1	0.45~0.85
	第1砂質土層	As1	シルト混じり中砂	-	0.6
	第3粘性土層	Ac3	シルト	1	0.20~1.05
	第4粘性土層	Ac4	砂質シルト	2	0.7
	第2砂質土層	As2	シルト混じり中砂	1~16	1.50~3.60
	第5粘性土層	Ac5	シルト	-	0.4
旧 世	第3砂質土層	As3	中砂	9~39	3.90~6.70
	第4砂質土層	As4	細砂	10~32	5.95~8.25
	第6粘性土層	Ac6	シルト	3~12	0.55~0.75
	第5砂質土層	As5	砂混じり砂	-	0.55
	洪積砂礫層	Dg	砂礫	31~50 以上	5.20~6.25 確認

地層断面想定図 (C-C'断面)

縮尺 横 : 1:1000
縦 : 1:200

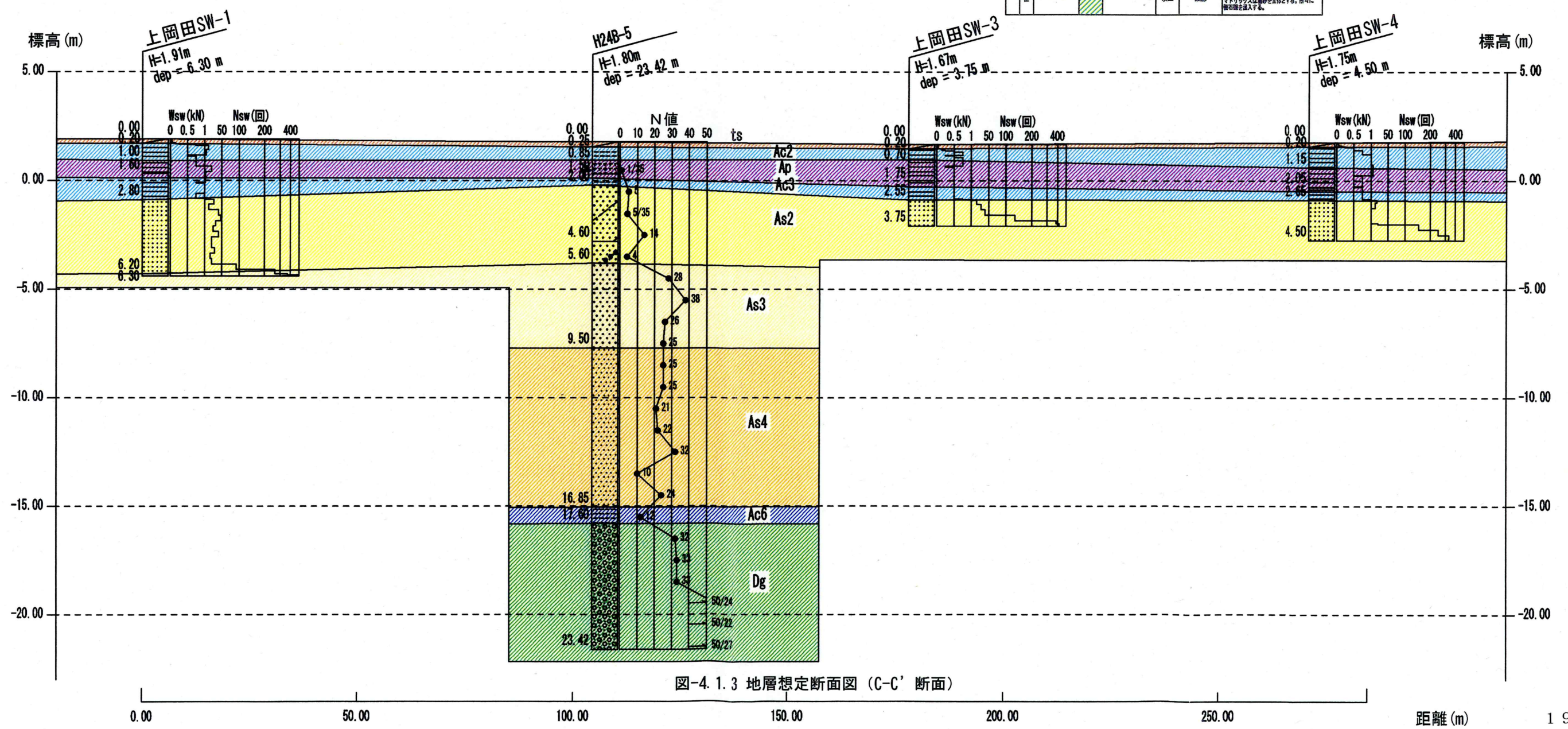
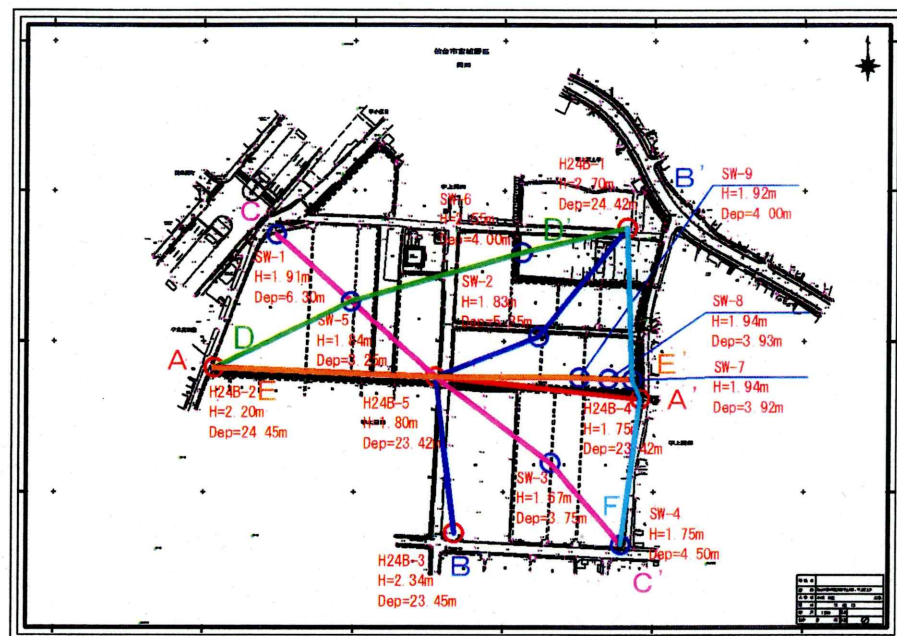


図-4.1.3 地層想定断面図 (C-C' 断面)



凡 例					
時代	地層名	記号	構成土質	N 値	厚 (m)
新 期	埋土層	Bs	シルト混じり中砂 礫混じり砂	-	0.90~1.25
	表土層	ts	表土・耕作土	-	0.10~0.25
	第1粘性土層	Ac1	砂質シルト	3	1.65
	第2粘性土層	Ac2	シルト 砂混じりシルト	2	0.60~1.20
	有機質土層	Ap	腐植土	1	0.45~0.85
	第1砂質土層	As1	シルト混じり中砂	-	0.6
	第3粘性土層	Ac3	シルト	1	0.20~1.05
	第4粘性土層	Ac4	砂質シルト	2	0.7
	第2砂質土層	As2	シルト混じり中砂	1~16	1.50~3.60
	第5粘性土層	As5	シルト	-	0.4
旧 期	第3砂質土層	As3	中砂	9~39	3.90~6.70
	第4砂質土層	As4	細砂	10~32	5.85~8.25
	第6粘性土層	Ac6	シルト	3~12	0.55~0.75
	第5砂質土層	As5	礫混じり砂	-	0.55
	洪積砂層	Dg	砂礫	31~50 以上	5.20~6.25 以降

地層断面想定図 (D-D' 断面)

縮尺 横 : 1:1000
縦 : 1:200

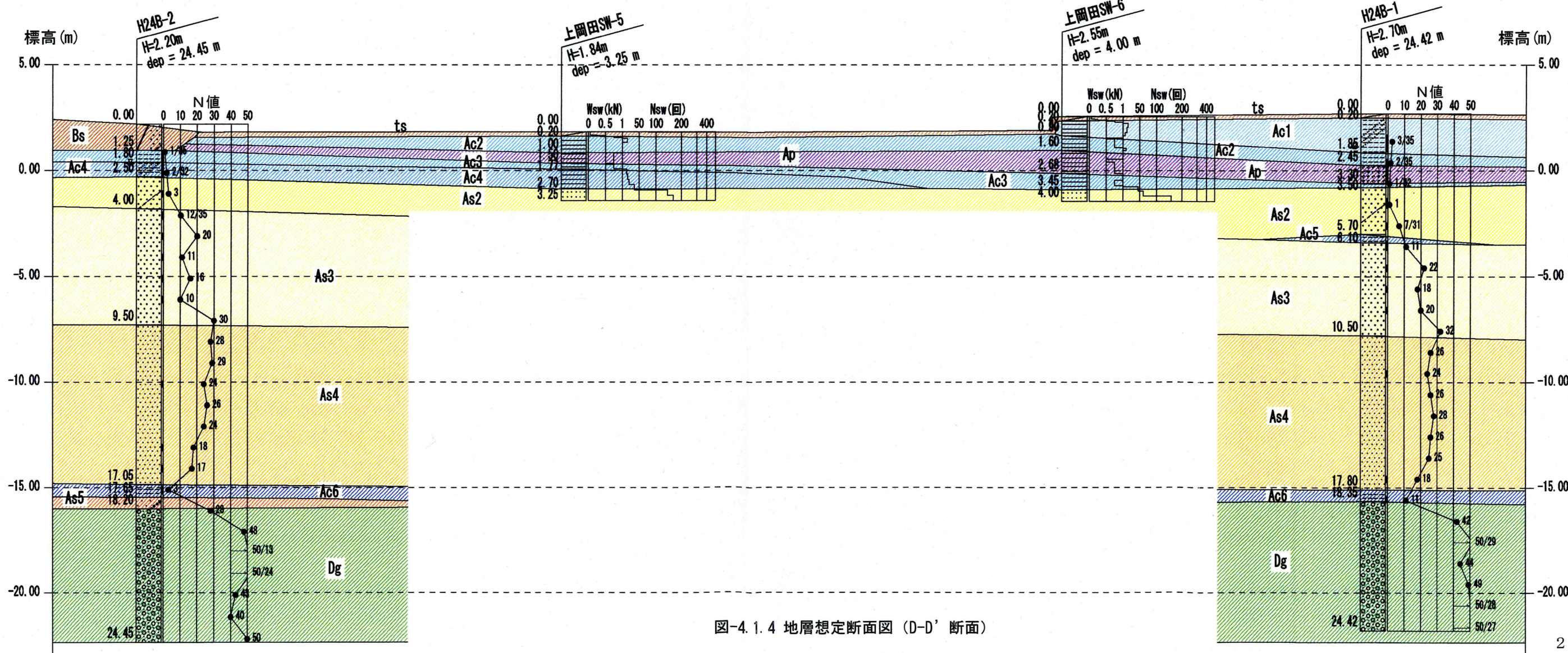
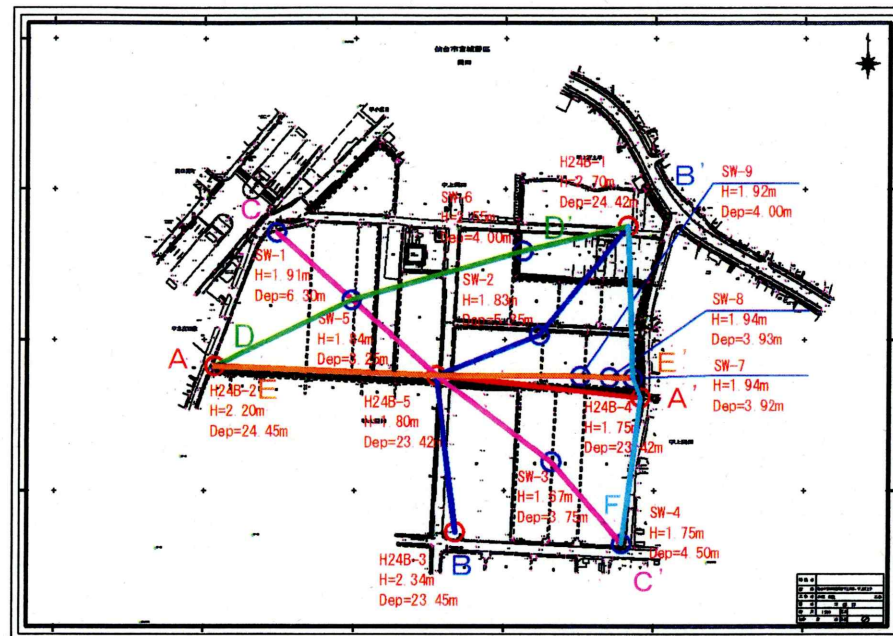


図-4.1.4 地層想定断面図 (D-D' 断面)



凡 例					
時代	地層名	記号	構成土質	N 値	厚さ (m)
新 世	表土層	Bs	シルト混じり中砂 腐植質	-	0.90~1.25
	表土層	ts	表土・耕作土	-	0.10~0.25
	第1粘性土層	Ac1	砂質シルト	3	1.65
	第2粘性土層	Ac2	シルト 砂混じりシルト	2	0.60~1.20
	有機質土層	Ap	腐植土	1	0.45~0.65
	第1砂質土層	As1	シルト混じり中砂	-	0.6
	第3粘性土層	Ac3	シルト	1	0.20~1.05
	第4粘性土層	Ac4	砂質シルト	2	0.7
	第2砂質土層	As2	シルト混じり中砂	1~16	1.50~3.60
	第5粘性土層	Ac5	シルト	-	0.4
旧 世	第3砂質土層	As3	中砂	9~39	3.90~6.70
	第4砂質土層	As4	細砂	10~32	5.65~8.25
	第6粘性土層	Ac6	シルト	3~12	0.55~0.75
	第5砂質土層	As5	礫混じり砂	-	0.55
	洪積砂礫層	Dg	砂礫	31~50 以上	5.20~6.25 確認

地層断面想定図 (E-E'断面)

縮尺 横: 1:1000
縦: 1:200

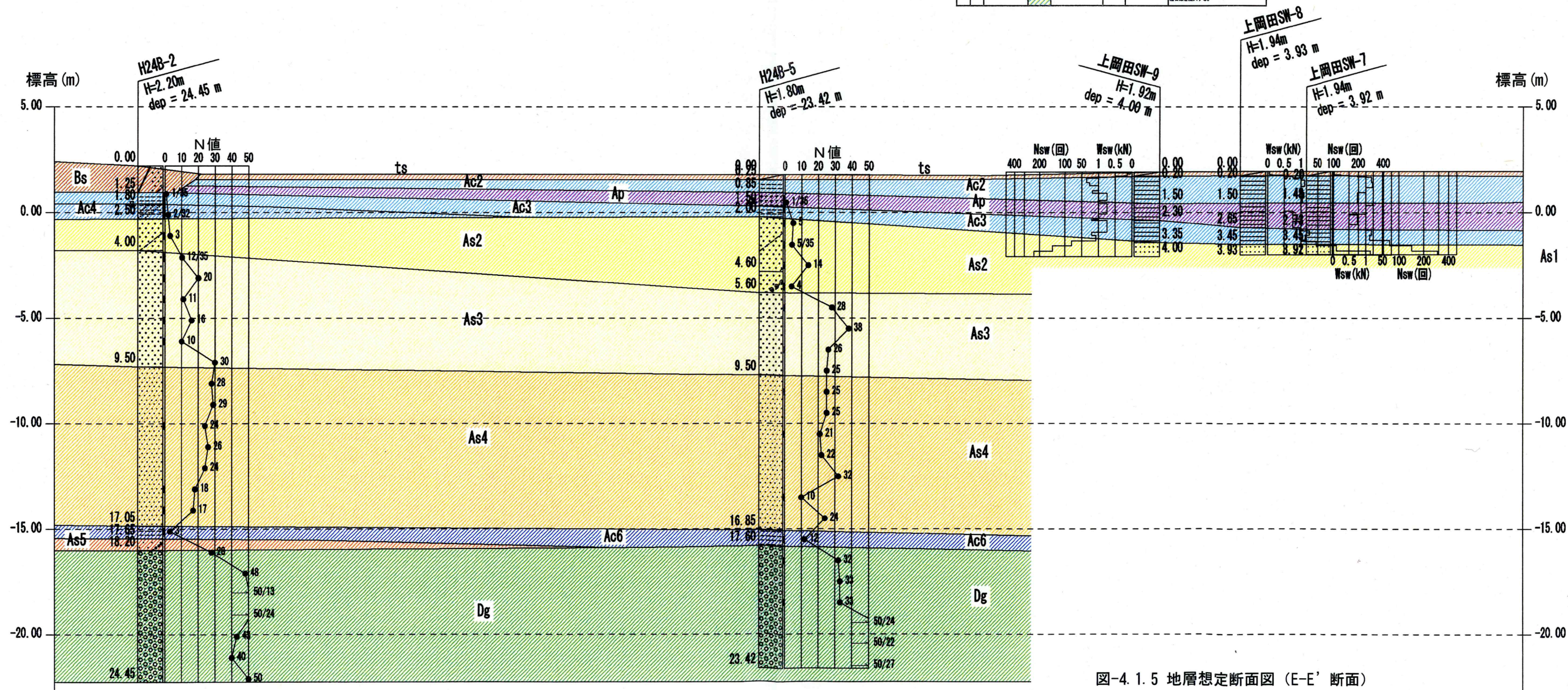
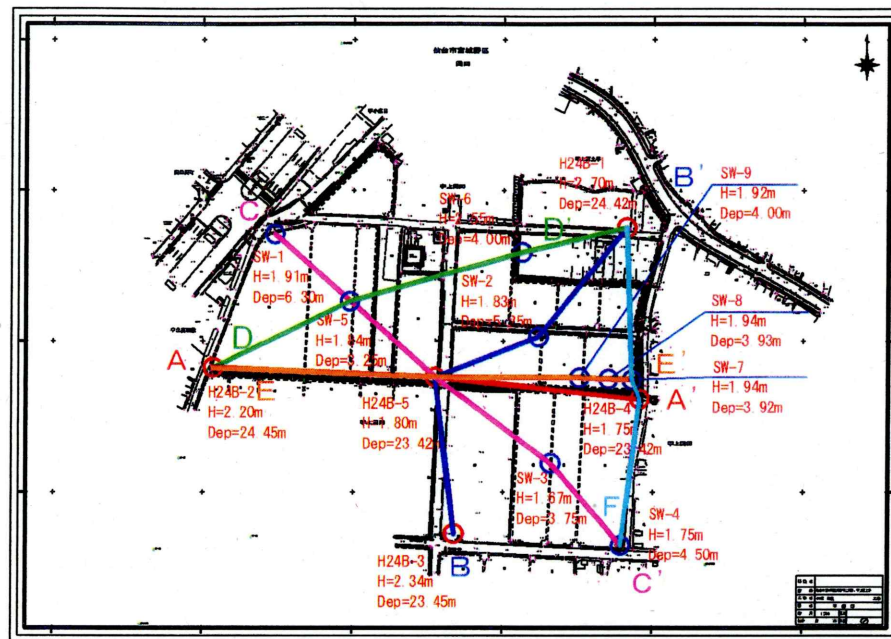


図-4.1.5 地層想定断面図 (E-E'断面)



凡 例						
時代	地層名	記号	構成土質	N 値	層厚 (m)	記 事
新 第三紀	盛土層	Bs	シルト混じり中砂 微粒じり砂	—	0.90~1.25	山形は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
	表土層	ts	表土・耕作土	—	0.10~0.25	樹や木の根や土からなり、腐植物を多く混入し、草を混入する。腐植物を多く混入する。
	第1粘性土層	Ac1	砂質シルト	3	1.65	本層は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
	第2粘性土層	Ac2	シルト 砂混じりシルト	2	0.60~1.20	シルトは均質で全層に腐植物を混入する。所々にシルトが少なく、浮石を混入する。
	有機質土層	Ap	腐植土	1	0.45~0.85	腐植物を多く混入し、所々に腐植物を混入する。標準値は、全層に腐植物を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
新 第四紀	第1砂質土層	As1	シルト混じり中砂	—	0.6	本層は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
	第3粘性土層	Ac3	シルト	1	0.20~1.05	シルトは均質で全層に腐植物を混入する。所々にシルトが少なく、浮石を混入する。
	第4粘性土層	Ac4	砂質シルト	2	0.7	本層は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
	第2砂質土層	As2	シルト混じり中砂	1~16	1.50~3.60	本層は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
	第5粘性土層	Ac5	シルト	—	0.4	本層は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
旧 第四紀	第3砂質土層	As3	中砂	9~39	3.90~6.70	本層は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
	第4砂質土層	As4	細砂	10~32	5.85~8.25	本層は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
	第6粘性土層	Ac6	シルト	3~12	0.55~0.75	本層は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
	第5砂質土層	As5	微粒じり砂	—	0.55	本層は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。
	洪積砂層	Dg	砂層	31~50 以上	5.20~6.25 確認	本層は不均一な中砂からなり、全層に浮石が多く混入する。所々に腐植物を混入する。標準値は、全層にシルトが少なく、浮石を混入し、20mm程度の腐植物を混入する。

地層断面想定図 (F-F'断面)

縮尺 横 : 1:1000
縦 : 1:200

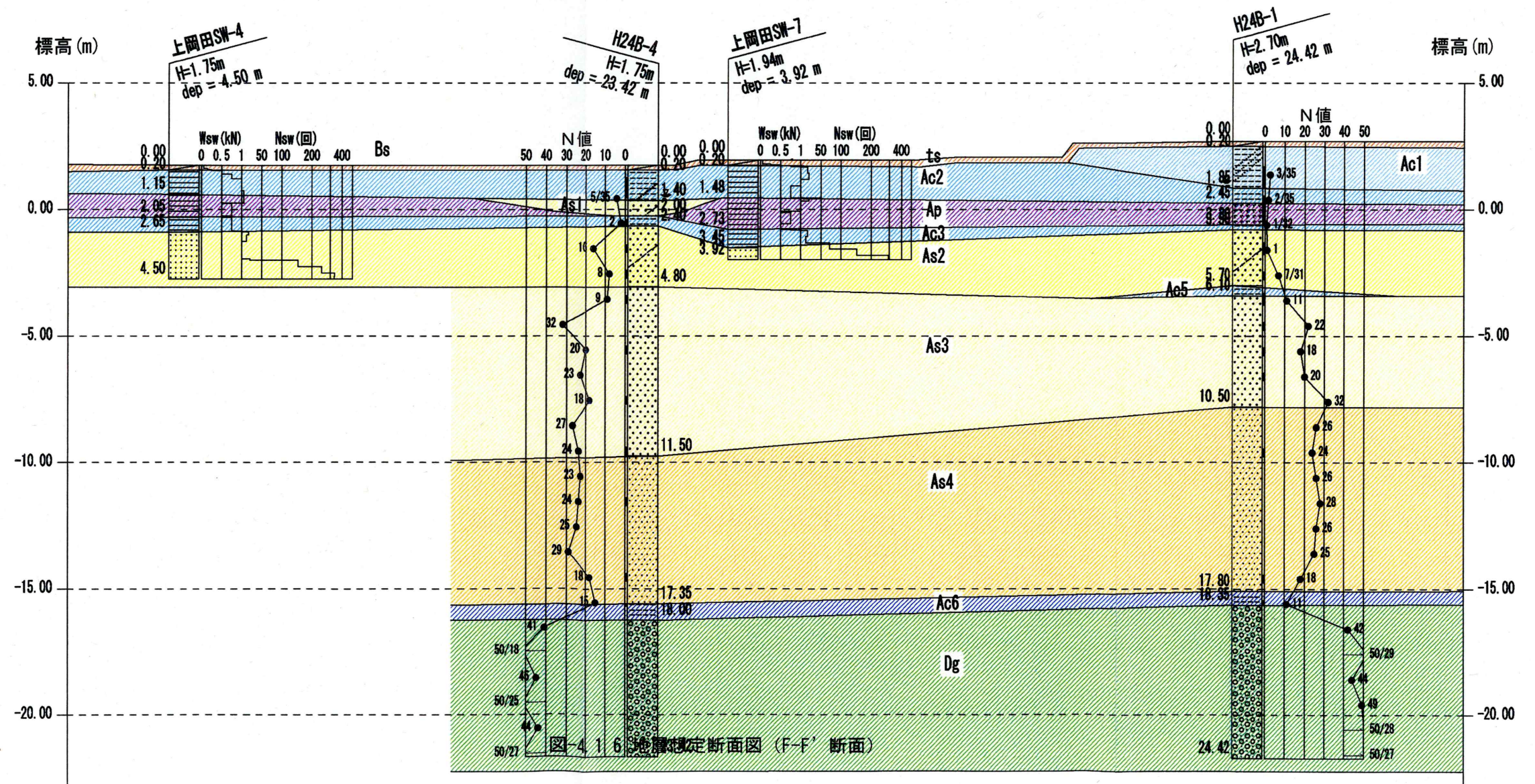


図-4.1.6 地層断面想定図 (F-F'断面)

ボーリング柱状図

調査名 平成24年度防災集団移転促進事業に関わる上岡田地区外測量調査基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H24B-1	調査位置	仙台市宮城野区岡田字上岡田地内	北緯	
発注機関	仙台市	調査期間	平成24年9月14日～24年9月	東経	
調査業者名	株式会社三協技術 電話(022-224-5527)	主任技師		現場代理人	コア鑑定者
孔口標高	H=2.70m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北0° 270° 西 180° 東 90° 南
総掘進長	24.42m	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	東邦地下工機製D-1型
		エンジン	ヤンマーNFD10	ハンマー落下用具	半自動落下式
		ポンプ	東邦地下工機BG3-B型		

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	記	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取			室内試験(掘進月日)
										深	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量	深	試験名および結果	深	試験番号	採取方法	
											度	0	10							
(m)	(m)	(m)	(m)					事		(m)	10	20	30	(cm)	(m)		(m)	号	法	
1	2.50	0.20	0.20		表土	暗褐		草根を少量混入する。 全般に均質な砂質シルトからなる。 全般に浮石を混入する。 0.95m、1.40m、1.80m付近に砂の薄層を挟む。 上部は含水が低く硬い。	9/14 1.57	1.15	1/8	1/17	1	3/35			1.00	T1-1	①	物理力学
2	0.85	1.65	1.85		砂質シルト	褐灰		均質なシルトからなる。 腐植物混入する。		1.50							1.80	P1-2	②	含水・液性・塑性・物理力学
3		0.25	0.60	2.45	シルト	褐灰		繊維質な腐植物を多量に混入する。 所々不規則に細砂の薄層を挟む。		2.15	1/24	1/11		2/35			2.50	T1-2	①	物理力学
4		0.25	0.60	2.45	腐植土	黒灰		均質なシルトからなる。		2.50							3.30	P1-4	②	粒度・液性・塑性
5	-0.60	0.85	3.30		シルト	淡灰		全般に不均一なシルト混じり中砂からなる。 全般に腐植物を混入する。 所々に貝殻片を混入する。 4.80～4.95m間にシルトを挟む。 全般に雲母片を混入する。		3.15	0	1/22		1/32			4.00	P1-5	②	粒度
6	-0.80	0.20	3.50		シルト	暗灰		腐植物混入。所々に20mm～30mm程度細砂挟む。		3.47							4.45	P1-6	②	含水・液性・塑性
7										4.15	0/22	1/8		1/30			5.15	P1-7	②	粒度
8										4.45							5.46	CI-6	②	含水・液性・塑性
9										5.15	2/12	2/9	3/9	7/31			6.15	P1-8	②	粒度
10	-3.00	2.20	5.70		シルト	暗灰				5.46							6.45	P1-9	②	粒度
11	-3.40	0.40	6.10		中砂	暗青灰		全般に不均一な中砂からなる。 全般に貝殻片や雲母片を混入する。 所々に少量の腐植物を混入する。 所々に細砂を挟む。		6.15	2/12	3/9	6/9	11/30			7.15	P1-10	②	粒度
12										6.45							7.45	P1-11	②	粒度
13										7.15	5	7	10	22/30			8.15	P1-12	②	粒度
14										7.45							8.45	P1-13	②	粒度
15										8.15	4	6	8	18/30			9.15	P1-14	②	粒度
16										8.45							9.45	P1-15	②	粒度
17										9.15	4	6	10	20/30			10.15	P1-16	②	粒度
18	-7.80	4.40	10.50		細砂	暗青灰		全般に均一な細砂からなる。 全般に貝殻片や雲母片を混入する。 所々に腐植物を混入する。 所々に中砂を混入する。		9.45							10.45	P1-17	②	粒度
19										10.15	7	11	14	32/30			11.15	P1-18	②	含水・液性・塑性
20										10.45							11.45			
21										11.15	6	9	11	26/30			12.15			
22										11.45							12.45			
23										12.15	6	8	10	24/30			13.15			
24										12.45							13.45			
25										13.15	6	8	12	26/30			14.15			
26										13.45							14.45			
27										14.15	7	9	12	28/30			15.15			
28										14.45							15.45			
29										15.15	7	9	10	26/30			16.15			
30										15.45							16.45			
31										16.15	5	9	11	25/30			17.15			
32										16.45							17.45			
33										17.15	4	5	9	18/30			18.15			
34	-15.10	7.30	17.80		シルト	暗灰		腐植物や貝殻片を混入する。 不規則に砂を混入する。		17.45							18.15	P1-19	②	含水・液性・塑性
35	-15.65	0.55	18.35		砂礫	褐灰		礫径はφ10～15mm位が多く、所々にφ40～50mm位の硬い安山岩礫が混入する。 礫は円礫～亜円礫で、22.00m付近より粗砂多く混入する。 全般に粘土分を少量混入する。 マトリックスは粗砂を主体とする。 所々に軽石礫を混入する。		18.15	1/15	1/7	9/8	11/30			18.45			
36										18.45							19.15			
37										19.15	14	16	12	42/30			19.45			
38										19.45							20.15			
39										20.15	15	15	20/9	50/29			20.44			
40										20.44							21.15			
41										21.15	15	13	16	44/30			21.45			
42										21.45							22.15			
43										22.15	11	18	20	49/30			22.45			
44										22.45							23.15			
45										23.15	15	18	17/8	50/28			23.43			
46										23.43							24.15			
47	-21.72	6.07	24.42							24.15	15	18	17/7	50/27			24.42			
48										24.42										

ボーリング柱状図

調査名 平成24年度防災集団移転促進事業に関わる上岡田地区外測量調査基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H24B-2	調査位置	仙台市宮城野区岡田字上岡田地内	北緯
発注機関	仙台市	調査期間	平成24年9月20日～24年9月22日	東経
調査業者名	株式会社三協技術 電話(022-224-5527)	主任技師	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	H=2.20m	角	180° 上 90° 下 0°	方
総掘進長	24.45m	度	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配 鉛直90° 水平0°
使用機種	試錐機 エンジン	東邦地下工機製D-1型	ハンマー 落下用具 ポンプ	半自動落下式
		ヤンマーNFD10		東邦地下工機BG3-B型

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠度	記	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取			室内試験(掘進月日)
										深	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量	深	試験名および結果	深	試料採取番号	採取方法	
											度	0	10							
(m)	(m)	(m)	(m)					事		(m)	10	20	30	(cm)	(m)		(m)			
1	0.95	1.25	1.25		盛土・シルト混じり中砂	暗灰		山砂による盛土からなる。砂は均一な中砂からなる。所々に草根を混入する。全般に浮石を多く混入する。所々に腐植物を混入する。	9/20 1.87	1.15	1/35			1/35			1.25			
2	0.40	0.55	1.80		シルト	黒灰暗灰		上部腐植物を多く混入する。下部にシルト分を多く混入する。	1.50								1.80	T2-1	①	物理・力学
3	-0.30	0.70	2.50		砂質シルト	暗灰		全般に均質なシルトからなる。全般に腐植物を混入する。	2.15	1/20	1/12			2/32			1.80	T2-2	①	物理・力学
4	-1.80	1.50	4.00		シルト混じり中砂	暗灰		2.55m付近にφ40mm位の亜円礫混入する。 2.90m付近腐植物や木片を混入する。 3.30m付近に20mm位のシルトを挟む。 3.60m付近に細礫を混入する。	2.47								2.50			
5									3.15	1/9	1/13	1/8		3/30			3.15	P2-3	○	粒度
6									3.45								3.45			
7									4.15	4	5		3/15	12/35			4.15	P2-4	○	粒度
8									4.50								4.50			
9									5.15	6	7	7		20/30			5.15	P2-5	○	粒度
10									5.45								5.45			
11									6.15	3	4	4		11/30			6.15	P2-6	○	粒度
12									6.45								6.45			
13									7.15	4	4	8		16/30			7.15	P2-7	○	粒度
14									7.45								7.45			
15									8.15	3	3	4		10/30			8.15	P2-8	○	粒度
16									8.45								8.45			
17	-7.30	5.50	9.50						9.15	7	10	13		30/30						
18									9.45											
19									10.15	7	10	11		28/30						
20									10.45											
21									11.15	7	9	13		29/30						
22									11.45											
23									12.15	6	8	10		24/30			12.15	P2-12	○	粒度
24									12.45								12.45			
25									13.15	7	8	11		26/30						
26									13.45											
27									14.15	7	8	9		24/30						
28									14.45											
29									15.15	5	5	8		18/30			15.15	P2-15	○	粒度
30									15.45								15.45			
31									16.15	6	5	6		17/30			16.15	P2-16	○	粒度
32	-14.85	7.55	17.05						16.45								16.45			
33	-15.45	0.60	17.65		シルト	暗灰		均質なシルトからなり、少量の腐植物を混入する。貝殻片混入。所々に細砂が挟在する。	17.15	1/13	1/9	1/8		3/30			17.15	P2-17	○	粒度・液性・塑性
34	-16.00	0.55	18.20		礫混じり砂	暗青灰		礫径はφ10～15mm位が主体で、所々にφ30～50mm位の礫が混じる。貝殻片が多量に混入する。	17.45								17.45			
35									18.15	6	6	16		28/30						
36									18.45											
37									19.15	16	16	16		48/30						
38									19.45											
39									20.15	36	14/3			50/13						
40									20.28											
41									21.15	15	23	12/4		50/24						
42									21.39											
43									22.15	8	15	20		43/30						
44									22.45											
45									23.15	9	14	17		40/30						
46									23.45											
47	-22.25	6.25	24.45						24.15	19	14	17		50/30						
48									24.45											
49																				
50																				
51																				
52																				
53																				
54																				
55																				
56																				
57																				
58																				
59																				
60																				
61																				
62																				
63																				
64																				
65																				
66																				
67																				
68																				
69																				
70																				
71																				
72																				
73																				
74																				
75																				
76																				
77																				
78																				
79																				
80																				
81																				
82																				
83																				
84																				
85																				
86																				
87																				
88																				
89																				
90																				
91																				
92																				
93																				
94																				
95																				
96																				
97																				
98																				
99																				
100																				

ボーリング柱状図



調 査 名

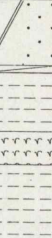
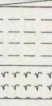
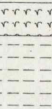
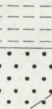
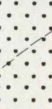
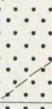
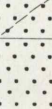

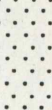
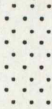

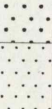


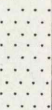
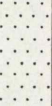
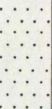




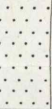







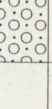
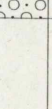


平成24年度防災集団移転促進事業に関わる上岡田地区外測量調査基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シート No

ボーリング名	H24B-3		調査位置	仙台市宮城野区岡田字上岡田地内					北緯		
発注機関	仙台市				調査期間	平成24年9月21日～24年9月26日			東経		
調査業者名	株式会社三協技術 電話(022-224-5527)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		秋山政一		
孔口標高	H=2.34m	角 	方	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配		使用機種	試錐機	東邦地下工機製D-0型	ハンマー落下用具	半自動落下式
総掘進長	23.45m		度	向					エンジン	ヤンマーNFD10	ポンプ

標 尺	標 高	層 厚	深 度	柱 状 図	土 質 区 分	色 相 対 密 度 調 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 (m) / 測 定 月 日	標 準 貫 入 試 験					原 位 置 試 験		試 料 採 取			掘 進 月 日
										深 度 (m)	10cmごとの 打 撃 回 数			打 撃 回 数 / 貫 入 量 (cm)	深 度 (m)	試 験 名 および 結果	深 度 (m)	試 料 採 取 番 号	採 取 方 法	
											0	10	20							
(m)	(m)	(m)	(m)							(m)	10	20	30			(m)				
1	1.44	0.96	0.88		盛土・礫混じり砂	暗褐		礫混じり砂を主体とする盛土。全般にシルト分を多く混入する。φ20mm程度の角礫を混入する。	9/21 2.30	1.15	1/20	1/15	2/35							
2	0.54	0.80	1.80		表土	暗褐		細礫や腐植物を混入する。	1.50											
	0.09	0.45	2.25		シルト	暗褐～暗灰		均質なシルトからなる。全般に腐植物を混入する。所々にシルト質砂を挟む。	2.15	1/35			1/35							
3	-0.96	1.05	3.30		腐植土	黒灰		全般に繊維質な腐植物を混入する。全般にシルト分を多く混入する。	2.50											
					シルト	暗褐		繊維質な腐植物を混入する。所々砂の薄層を挟む。	3.15	2	2	3	7/30							
4					シルト混じり中砂	暗青灰		全般に不均一なシルト混じり中砂からなる。所々に少量の腐植物を混入する。所々にシルトの薄層を挟む。全般に貝殻片や雲母片を混入する。	3.45											
5									4.15	7	5	3	15/30							
6	-3.46	2.50	5.80						4.45											
					中砂	暗青灰		全般に不均一な中砂からなる。全般に貝殻片や雲母片を混入する。所々に腐植物を混入する。6.80m付近に固結シルトを挟む。9.0m付近に貝殻片を多く混入する。	5.15	3	3	4	10/30							
7									5.45											
8									6.15	7	9	11	27/30							
9									6.45											
10	-7.66	4.20	10.00						7.15	12	12	15	39/30							
11									7.45											
12									8.15	2	6	9	17/30							
13									8.45											
14									9.15	6	8	11	25/30							
15									9.45											
16									10.15	6	10	11	27/30							
17									10.45											
18	-15.91	8.25	18.25						11.15	7	8	10	25/30							
19									11.45											
20									12.15	5	7	11	23/30							
21									12.45											
22									13.15	5	9	12	26/30							
23	-21.11	5.20	23.45						13.45											
									14.15	5	7	9	21/30							
24									14.45											
									15.15	5	6	7	18/30							
									15.45											
									16.15	8	10	13	31/30							
									16.45											
									17.15	5	7	8	20/30							
									17.45											
									18.15	8	11	12	31/30							
									18.45											
									19.15	11	12	13	36/30							
									19.45											
									20.15	11	15	16	42/30							
									20.45											
									21.15	14	15	10	39/30							
									21.45											
									22.15	7	9	15	31/30							
									22.45											
									23.15	10	14	18	42/30							
									23.45											

ボーリング柱状図

調 査 名 平成24年度防災集団移転促進事業に関わる上岡田地区外測量調査基本設計業務委託

事業・工事名

ボーリングNo							
---------	--	--	--	--	--	--	--

シート No

ボーリング名	H24B-4		調査位置		仙台市宮城野区岡田字上岡田地内					北緯			
発注機関			仙台市			調査期間		平成24年10月25日～24年10月27日			東経		
調査業者名	株式会社三協技術 電話(022-224-5527)		主任技師		現代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者		秋山友一		
孔口標高	H=1.75m	角 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0°	使用機種	試錐機		東邦地下工機製D-0型	ハンマー落下用具	半自動落下式	
総掘進長	23.42m							エンジン		ヤンマーNFD10			ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内 水位 (m) ／測定 月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取			室内 試験 (—)	掘 進 月 日	
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃 回数 ／貫入 量 (cm)	深 度 (m)	試 験 名 および 結果	深 度 (m)	試 料 採 取 方 法				
												0 10 20	10 20 30	20 30 40									
	1.55	0.20	0.20		表土	褐灰			水田耕作土。 全般に均質な砂混じりシルトからなる。 所々に砂分を多く混入する。 全般に腐植物を混入する。	10/24 1.17	1.15	3	1	1	5								
1	0.35	1.20	1.40		砂混じりシルト	褐灰〜暗褐			所々に砂分を多く混入する。 全般に腐植物を混入する。	1.50	1.50	3	1	1	5								
2	-0.25	0.60	2.00		シルト混じり中砂	暗灰			全般に粒子の不均一な中砂からなる。 少量シルト分を混入する。 少量の腐植物混入する。	2.15	2.15	0	1	1	2								
3	-0.65	0.40	2.40		シルト	褐黒			少量の細砂を混じる。少量の腐植物混入する。	2.45	2.45	0	1	1	2								
4					シルト混じり中砂	暗青灰			全体的に少量のシルト分混じる。 3.75m〜3.90m間砂質シルトを挟む。	3.15	3.15	4	5	7	16								
5	-3.05	2.40	4.80							3.45	3.45												
6										4.15	4.15	2	3	3	8								
7										4.45	4.45												
8										5.15	5.15	2	3	4	9								
9										5.45	5.45												
10										6.15	6.15	7	10	15	32								
11										6.45	6.45												
12										7.15	7.15	5	7	8	20								
13										7.45	7.45												
14					中砂	暗青灰			全般に不均一な中砂を主体とする。 上部φ1〜2mm程度の細礫を少量混入する。 全般に貝殻の細片を少量混入する。 8.0m以深やや貝殻片を多く混入する。 所々に細砂を挟む。	8.15	8.15	6	8	9	23								
15										8.45	8.45												
16										9.15	9.15	5	5	8	18								
17										9.45	9.45												
18	-9.75	6.70	11.50							10.15	10.15	7	9	11	27								
19										10.45	10.45												
20										11.15	11.15	7	8	9	24								
21										11.45	11.45												
22										12.15	12.15	6	7	10	23								
23										12.45	12.45												
24										13.15	13.15	7	8	9	24								
25										13.45	13.45												
26										14.15	14.15	6	9	10	25								
27										14.45	14.45												
28										15.15	15.15	8	9	12	29								
29										15.45	15.45												
30										16.15	16.15	5	6	7	18								
31										16.45	16.45												
32	-15.60	5.85	17.35							17.15	17.15	4	5	6	15								
33	-16.25	0.65	18.00		シルト	暗灰			全般に均質なシルトで、不規則に細砂の薄層を挟む。 貝殻片を少量混入する。 全般に腐植物を混入する。 全般に硬いシルトからなる。	17.45	17.45												
34										18.15	18.15	15	13	13	41								
35										18.45	18.45												
36										19.15	19.15	29	21	8	50								
37										19.33	19.33												
38										20.15	20.15	14	15	16	45								
39										20.45	20.45												
40										21.15	21.15	16	20	14	50								
41										21.40	21.40												
42										22.15	22.15	14	15	15	44								
43										22.45	22.45												
44	-21.67	5.42	23.42							23.15	23.15	17	15	18	50								
45										23.42	23.42												
46																							
47																							
48																							
49																							
50																							
51																							
52																							
53																							
54																							
55																							
56																							
57																							
58																							
59																							
60																							
61																							
62																							
63																							
64																							
65																							
66																							
67																							
68																							
69																							
70																							
71																							
72																							
73																							
74																							
75																							
76																							
77																							
78																							
79																							
80																							
81																							
82																							
83																							
84																							
85																							
86																							
87																							
88																							
89																							
90																							
91																							
92																							
93																							
94																							
95																							
96																							
97																							
98																							
99																							
100																							

ボーリング柱状図

調査名 平成24年度防災集団移転促進事業に関わる上岡田地区外測量調査基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H24B-5		調査位置		仙台市宮城野区岡田字上岡田地内					北緯									
発注機関			仙台市			調査期間		平成24年10月27日～24年10月30日			東経								
調査業者名	株式会社三協技術 電話(022-224-5527)		主任技師				現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者		鴛橋 一						
孔口標高	H=1.80m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北0° 270°西 90°東 180°南		地盤勾配	鉛直90° 水平0°		使用機種	試錐機		東邦地下工機製D-1型		ハンマー落下用具		半自動落下式	
総掘進長	23.42m	度			向						エンジン	ヤンマーNFD10		ポンプ		東邦地下工機BG3-B型			

